

「特別展」

役者は揃った。

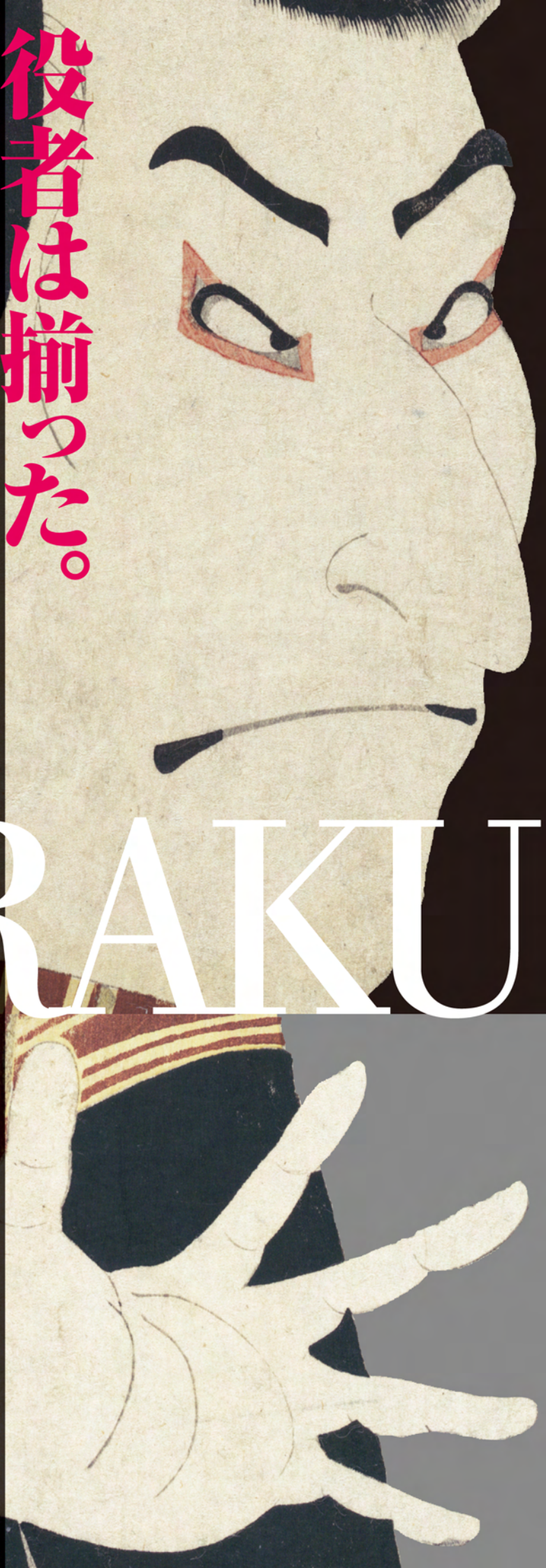
2011年4/5[火] ▶ 5/15[日]



東京国立博物館 平成館 上野公園
Tokyo National Museum 東京都台東区上野公園13-9

SHARAKU

写楽



写楽のほとんどすべての作品を網羅する夢のラインナップ

寛政六年（一七九四）五月、江戸三座の役者を個性豊かに描いた大判雲母摺りの豪華な作品二十八図を一度に出版するという華やかなデビューを果たした東洲斎写楽は、翌年正月に忽然と姿を消しました。その間十カ月（寛政六年は、閏十一月が含まれる）、写楽が残した版画は百四十図

①東洲斎写楽（市川雛蔵の竹村定之進）
大判錦絵 寛政六年五月、オランダ・ライデン国立美術館蔵
Rijksmuseum, Amsterdam
[三代を代表する名優を大首絵で描いた一期の代表作]



以上確認されており、それらは題材となった歌舞伎の上演時期によって制作時期が四期に分けられています。本展覧会では、約百四十図、約百七十枚の作品によって、写楽版画の全貌を紹介します。その数と質において、空前絶後の展覧会です。



②東洲斎写楽（三代目市川高麗蔵の電屋忠兵衛と初代中山富三郎の新町のけいせい梅川）
大判錦絵 寛政六年八月、イギリス・大英博物館蔵
© The Trustees of the British Museum
[雲母摺りの背景にのびやかな描線で描かれた二期の特徴がよくあらわれた作品]

写楽

一期

●寛政六年（一七九四）五月、都座・桐座・河原崎座に取材した役者絵
二十八図すべてを出品予定

一期は、背景を雲母摺りとした大首役者絵のみが出版されました。写楽の個性が最もよく発揮された時期で、多くの作品が残っており、異版も知られることから、当時も人気が高かったことがわかります。現代人がイメージする写楽は、この期の作品ではないでしょうか。

二期

●寛政六年（一七九四）七月、都座・河原崎座 八月、桐座に取材した役者絵
三十八図のうち三十六図を出品予定

二期は大首絵が無く、すべて全身像になりました。大判では雲母摺りの背景に「初代篠塚浦右衛門の口上」の他は二人の役者が描かれています。細判は無背景で一枚に一人ずつ描かれています。

③ 東洲斎写楽（く）と屋虎丸（二代目嵐龍藏の姦なみ平）
 間判錦絵 寛政八年十一月
 ベルギー・王立美術歴史博物館蔵
 Royal Museums of Art and History - Brussels
 「誇張され、形式化された表現が滑稽味のある魅力を生んでいる」



④ 東洲斎写楽（大童山文五郎の土俵入り）
 間判錦絵 寛政六年十一月 平木浮世絵美術館蔵
 （展示期間 4月26日～5月15日）
 「当時評判となった七歳のアイドル大童山を描いた作品」



三期

● 寛政六年（一七九四）十一月、閏十一月、都座・桐座・河原崎座に取材した役者絵、役者追善絵、相撲絵、六十四図のうち六十一図を出品予定

三期は相撲絵や追善絵など、時事的話題を意識した作品が描かれました。細判役者絵には、今まで描かれなかった背景が描かれるようになり、間判大首絵では、背景を雲母ではなく黄つぶしとしています。



四期

● 寛政七年（一七九五）正月、都座・桐座に取材した役者絵、相撲絵、十二図すべてを出品予定

四期の役者絵は、連続した背景の細判のみが描かれ、形式化が進んでいます。残っている作品数が少ないのは、写楽人気が薄れたためと想像されます。この時期の作品に写楽が筆を絶つた秘密があるのかも知れません。

その他

武者絵や福神を描いた版画が数点あります。

⑤ 東洲斎写楽（市川龍藏の工藤左衛門祐経）
 ⑥ 東洲斎写楽（六代目市川團十郎の曾我の五郎時彦）
 ⑦ 東洲斎写楽（三代目市川八百蔵の曾我の十郎祐忠）
 寛政七年正月
 アメリカシカゴ美術館蔵
 Photography © The Art Institute of Chicago
 「この期の作品は残存数が少ない。その意味で貴重なこの時期の代表作」

最高の摺り、

最高の保存状態の

作品をセレクト。

同じ作品の違う摺りも

比べてください。

皆さんは写楽の版画の本当の色を見たことがありますか？

写楽に限らず、当時の浮世絵版画は、植物性色料が多かったので、退色しやすく、摺ったばかりの色がそのまま残ることはほとんどありません。美術書に掲載されている作品は、比較的良質なものが多くありますが、それでもほとんどの作品は退色しています。⑨の「三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵女房おしづ」はかなり状態の良い作品ですが、着衣の絞り模様は薄い茶色になっています。この色は、⑩のように、本来は紫色でした。今回の展覧会では、摺った当時

の姿に近い色の残る希少な作品をいくつか比較展示いたします。

また、なかには、版の一部が異なるいわゆる異版もあります。⑩と⑪はともに「初代尾上松助の松下造酒之進」ですが、重ね扇に松の字紋の中央に、着衣の色と同じ濃緑が円く摺りこまれている版とそれのない版の二種があります。摺ってみると、松の字が見えにくいことに気づき削ったものと思われれますが、皆さんはどう思われますか。



⑨

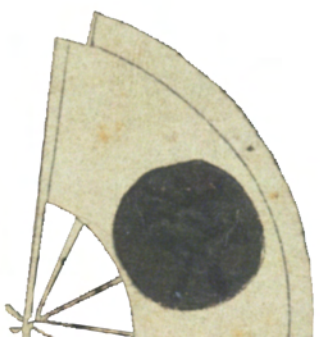


⑩

⑨ 東洲斎写楽「三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵女房おしづ」
大判錦絵 寛政六年五月 個人蔵
Photography: Steven Tucker

⑩ 東洲斎写楽「重文(三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵女房おしづ)」
大判錦絵 寛政六年五月 東京国立博物館蔵

⑪ 東洲斎写楽「初代尾上松助の松下造酒之進」
大判錦絵 寛政六年五月 東京国立博物館蔵



江戸時代の芝居の上演記録を検証。最新の研究成果をもち込みました。



「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」(13)は、「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」と記されることが多いのですが、「奴」を付けるのは誤りです。「恋女房染分手綱」において、鬼次の役は、辻番付・役割番付・絵本番付ともすべて「江戸兵衛」となっており、「奴」は付いていません。写楽が描いたのは、三幕目の四条河原の場において、鷲塚八平次に加担して奴一平(12)を襲い金子を奪う江戸兵衛です。「奴江戸兵衛」とした場合の奴とは、武家の奴僕の意味ですから、「奴江戸兵衛」とした研究者は、江戸兵衛は八平次の家来であると考えたようです。現存する台本を見ると、江戸兵衛は盗賊たちの頭で、八平次に頼まれて一平を襲うのであり、八平次の家来ではありません。したがって「奴」ではありません。

このように、展覧会では、最新の作品研究の成果を反映させます。

- ⑫ 東洲齋写楽
- ⑬ 初代市川男女蔵の奴(一平)
- 大判錦絵 寛政六年五月
- フランシス・ギメ 東京美術館蔵
- Photography: RMNM/Musée Guimet, Paris/Harry Bréhat/AMF/amanaimages
- ⑭ 「恋女房染分手綱」辻番付(部分)
- ⑮ 「恋女房染分手綱」絵本番付(部分)
- 寛政六年五月 河原崎屋
- 早稲田大学演劇博物館蔵 ⑭⑮ 一点共





東洲齋寫樂画題

© 東京国立近代美術館 (三浦大輔蔵) 複製
大正14年 横濱大正十四年 大正十四年 東京国立近代美術館蔵
© The Metropolitan Museum of Art / Art Resource, NY

同じ芝居、

同じ役者を描いた

他の浮世絵師の
作品と比べて
みましょう。

「花菖蒲文緑曾我」に出演した「三代目沢村宗十郎の大岸藏人」(16)を描いたのは写楽だけではありません。17の歌川豊国も、18の勝川春英も同じ大岸藏人を描いたものです。他に勝川春艶の団扇絵もあります。それらと比較すると、四図とも祇園町の茶屋の場面の藏人を描いていることが分かります。しかも、写楽・豊国・春英の三人の図が、共通して広げた扇を持つ姿になっていることに気づきます。しかし、扇の模様は異なります。着衣も微妙に異なります。展覧会では、「写楽との競作」の章を設け、写楽作品と同一興行の同一の役に取材した作品を比較展示いたします。

16 東洲斎写楽(三代目沢村宗十郎の大岸藏人)
大判錦絵 寛政六年五月 アメリカ・ホテル美術館蔵
Honolulu Academy of Arts, gift of James A. Michener, 1989



17 歌川豊国(役者舞台之姿 絵 きの国や三代目沢村宗十郎の大岸藏人)
寛政六年五月、ドイツ・ベルリン国立アジア美術館
© Staatliche Museen zu Berlin, Museum für Asiatische Kunst; photography: Jürgen Lüpke (WEBでの使用は不可)

この作品は所蔵者の意向によりウェブサイトへの写真掲載ができませんので、当資料(PDF版)では写真を割愛させていただいております。
印刷媒体の方のご利用についての詳細は広報事務局までお問合せください。

18 勝川春英(三代目沢村宗十郎の大岸藏人)
大判錦絵 寛政六年五月 イギリス・大英博物館蔵
© The Trustees of the British Museum



[展覧会担当者からのメッセージ]

寛政6年(1794)夏に豪華な雲母摺りの大判錦絵28枚を一度に出すという華やかなデビューを果たしながら、10ヶ月という短い活躍期間で筆を絶った写楽。そのため、正体を他の著名人に仮託するさまざまな「写楽別人説」が提示され、正体探しが人々の注目を集めてきました。今でも、「写楽は、誰だと思いませんか?」と聞かれることが多いのも事実です。しかし、近年は、阿波藩の能楽師斎藤十郎兵衛を写楽とすることで、写楽の正体探しは、ほぼ落ち着きを見せています。本来、写楽が目されるのは、その正体探しのミステリーではなかったはず。作品そのものを見てください。その個性的な表現は、作品が描かれた当時から、そして現代のわれわれにとっても多くの刺激を与える力を持っています。本展では、作品を通して、造形の魅力を解きほぐし、芸術的な特徴を明らかにし、魅力あふれる写楽作品創造の源を探っていきたくと考えています。

ゲスト・キュレーターの浅野秀剛氏、マティ・フォラー氏の協力により、世界的視野で作品を選択した本展は、その質と量において写楽の真の姿を皆様にお示しできるものとなるでしょう。

(東京国立博物館 絵画彫刻室長 田沢裕賀)

[展覧会概要]

[名称]

特別展「写楽」

[会期]

平成23年4月5日[火]—5月15日[日] (40日間)

[休館日]

4月25日[月]

[会場]

東京国立博物館 平成館

[開館時間]

午前9時30分—午後5時 *入館は閉館の30分前まで
(金曜日は午後8時、土・日曜日、祝日は午後6時まで開館)

[主催]

東京国立博物館
東京新聞
NHK
NHKプロモーション

[協力]

国際浮世絵学会

[後援]

文化庁

[協賛]

日本写真印刷、三井物産

[一般問合せ]

ハローダイヤル 03-5777-8600

[ホームページ]

<http://sharaku2011.jp> (展覧会公式HP)

[プレス問合せ]

特別展「写楽」広報事務局
〒106-0032 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル
TEL:03-6863-3409 FAX:03-5414-7966
E-Mail: sharaku2011@e-dc.jp

[観覧料]

	当日	前売	団体	早割ペア券
一般	1,500円	1,300円	1,200円	2,000円
大学生	1,200円	1,000円	900円	
高校生	900円	700円	600円	

*中学生以下は無料

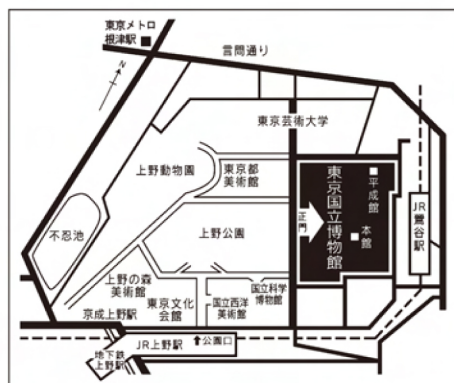
*団体は20名以上

*障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください)。

*前売り券は、2010年11月26日[金]—2011年4月4日[月]まで、早割ペア券は2011年1月31日[月]まで、電子チケットぴあ(Pコード=前売/当日:764-391 早割ペア券:764-392)、ローソンチケット(Lコード=32902)、ファミリーマート、CNプレイガイド、イープラスなど主要プレイガイドで発売。

*展覧会公式HPでもチケットの発売を致します。

*会期中、作品の一部に展示替えがあります。



[交通のご案内]

JR「上野」駅公園口・「鶯谷」駅南口より徒歩10分、
東京メトロ「上野」駅・「根津」駅、
京成電鉄「京成上野」駅より徒歩15分

東京国立博物館 平成館 [上野公園]

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
お問い合わせ=ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立博物館ホームページ=<http://www.tnm.jp/>

